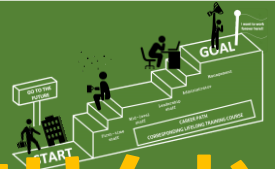


福祉・介護分野で活躍するみなさん！



キャリアデザイン、描いてみませんか。

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程とは

【目的】

全国社会福祉協議会・中央福祉学院が福祉・介護サービス分野に共通する能力を開発するための基礎的研修として開発。

福祉・介護職員が自らのキャリアアップの道筋（キャリアデザイン）を描き、各施設・事業所のキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力の段階的・体系的な習得を支援するとともに、各施設・事業所の主体的なキャリアパスの整備や職員育成施策の確立・実施を支援します。

【特徴】

- ★あらゆる事業種別・職種を横断した福祉・介護職員全般が対象。
- ★研修内容の標準化による、全国共通の基礎的研修
- ★階層ごとに5つの課程に区分し、それぞれに対応した研修プログラムを設定。
- ★さまざまな研修実施機関・団体が連携。
- ★全国の都道府県・指定都市50か所の研修実施機関等で開催。
- ★平成29年度は約18,000人が受講。
- ★沖縄県社協・福祉人材研修センターにおいて平成30年度にチームリーダーコースを開催。44か所の福祉施設等から52名が受講。

【効果】

- ☆モチベーションアップにつながる（キャリアデザインの見える化・上司コメント等）
- ☆目指す職業人（キャリアビジョン）を明確にし、実践へとつなげることができる
- ☆法人・事業所の人材育成計画・人材マネジメントへの活用
- ☆修了証の交付（全国共通のキャリア証明）

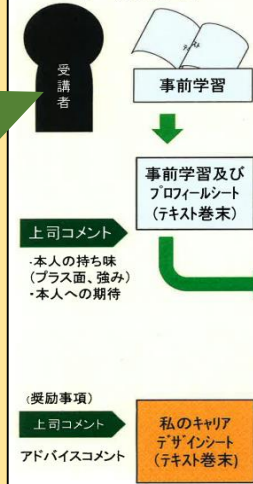


福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の内容

テキストの章立て

- 1章 キャリアデザインとセルフマネジメント
- 2章 福祉サービスの基本理念と倫理
- 3章 メンバーシップ・リーダーシップ
- 4章 チームリーダーとしての能力開発
- 5章 業務課題の解決と実践研究
- 6章 リスクマネジメント
- 7章 チームアプローチと多職種連携・地域協働
- 8章 組織運営管理

I 自己学習



II 面接授業

プログラム	内容	
1日目	基礎科目の講義と演習 (テキスト第1章)	・自己学習で作成したプロフィールシートについて、グループ内で相互紹介します。 ・テキスト第1章の内容を確認し、キャリアデザインの目的や意義について理解を深めます。
	基礎科目の講義と演習 (テキスト第2・3章)	・理解促進テスト(10問、正誤式)について、個人及びグループで取り組み、第2章・第3章の内容について理解を深めます。
	重点科目の講義と演習	・各階層で特に重要なテーマについて重点的に学びます。 ※このプログラムは、地域や受講者の特性に合わせて、実施団体の裁量により、自由にテーマを選択します。
2日目	啓発科目の講義と演習 (テキスト第4～8章)	・テキスト第4～8章のポイント25項目について、自らの理解度を確認します。 ・さらに、上記のなかから、大切だと思うものを選ぶことで、自らが目指したい職業人としての姿を描くための素材を見つけます。
	行動指針の策定	・自己学習および面接授業で確認した各科目のポイントをもとに、グループで、各階層職員としての行動指針を作成します。 ・キャリアデザインシートを描く前に、グループメンバーと意見を交わすことで、視野を広げ、新たな気づきを得ます。
	キャリアデザインシートと行動計画の策定	・上記で作成した行動指針をふまえ、今度は自らのキャリアデザインを描きます。

自己学習で

学ぶ

- ・自身の経験をベースに
- ・新しい知識、情報
- ・新しい経験

自己学習&面接授業（研修会）で

気づく

- ・強み（強化点）
- ・弱み（改善点）

キャリアデザインシートで

描く

- ・目標
- ・行動指針

変わる

- ・行動変容
- ・実践

キャリアパスの段階（各階層）ごとに

令和元年度は本研修課程研修会、全5階層のうち・・・

研修会名	受講対象者
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) 8/21・22	・新卒入職及び他業界から 入職後3年以内の職員
中堅職員キャリアアップ研修会	・担当業務の独自遂行が可能なレベルの職員 (入職後概ね3～5年の職員)
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 12/3・4	・近い将来チームリーダー等の役割を担う ことが想定される中堅職員 ・現に主任・係長等についている職員
管理者キャリアアップ研修会	・近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導 的立場の職員 ・現に小規模事業管理者・部門管理者等についている 職員
上級管理者キャリアアップ研修会 ※上級管理者キャリアアップ研修会は、全国社会福祉協議会・中央福祉学院主催により開催されます。	・近い将来上級管理者の役割を担うことが想定される 職員 ・現に施設長等運営統括責任者に就いている職員

を開催します！

各施設・事業所のみならず、是非
 本研修課程研修会をご活用ください♪



本研修課程等を活用した人材育成事例の紹介



Since 2005 みんな笑顔のチャンプルー福祉
(有)ケアセンターきらめき

読谷村や嘉手納町、那覇市において「共生ケア」（介護保険・障がい福祉の垣根なく、子どもからお年寄りが集う一つ屋根の下のきらめき家）を特徴に各種サービス事業所を展開。



【2015年】
 沖縄県社協が県から委託を受け作成した「沖縄県の福祉・介護分野における人材育成ガイドライン」を活用したモデル事業所としてアドバイザーからの支援を受け、研修推進委員会を発足。研修体制構築を目標に「事業所の現状把握」→「求める人材像の設定」→「研修プログラムの構築」を行った。



【2016年】
 研修プログラムにもとづき、職場内研修を実施。
 ★研修プログラムの特徴★
 ・外部講師や社内職員による1コマ15分の「ミニ研修」
 ・他事業所での1日体験×5か所の「社内交流プログラム」
 ・研修受講でポイント付与！ポイントがたまると「国内旅行パック」をプレゼント！などなど

【2017年】
 各種処遇改善加算の獲得も考慮し、「研修」と「人事考課」のリンク＝キャリアパス制度導入。
 ・「階層」「人材像」「職務内容」「昇格昇給」を明文化



【2018年】
 研修推進委員会を「働きやすさと学び委員会」（ハタマナ委員会）に変更し、研修企画だけでなく、各職員の声を働きやすさにつなげる取り組みを継続して行っている。また、研修プログラムを刷新し、「本研修課程」を取り入れた各階層ごとの職場内研修を開催。今後は本研修課程研修会の受講も予定。

【詳しい内容やお問合せ先】
 ★沖縄県社会福祉協議会・福祉人材研修センター
 ★TEL: 098-882-5703 FAX: 098-887-1071まで、お気軽にどうぞ♪